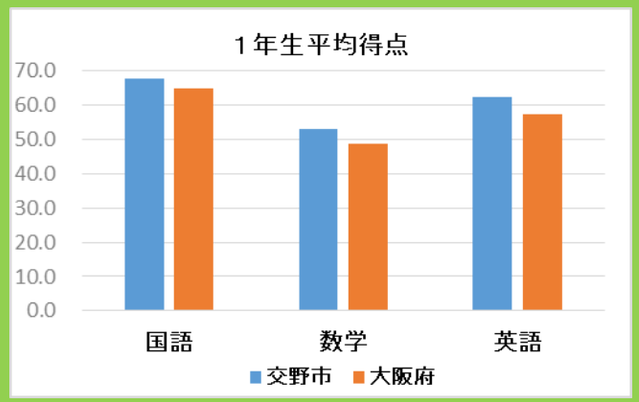
令和元年度　大阪府中学生チャレンジテスト

調査結果概要【交野市】

ー 令和2年1月9日実施 ー

学年・教科別平均得点・対大阪府平均比

1年生	交野市	大阪府	交野市－大阪府
国語	67.6	64.9	2.7
数学	53.1	48.8	4.3
英語	62.2	57.5	4.7

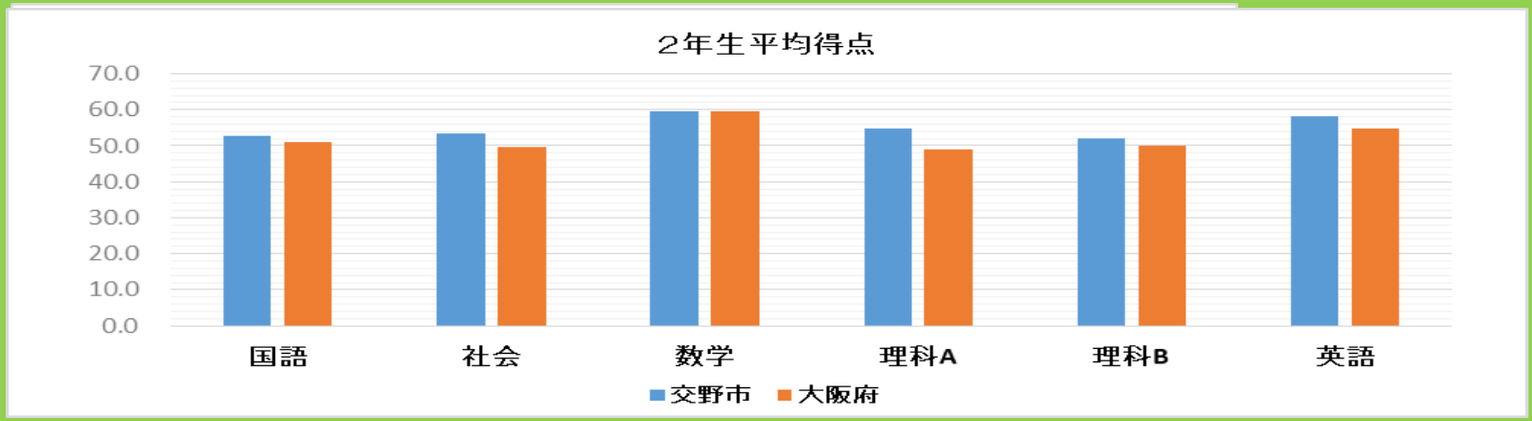


■平均得点数においては、1,2年生ともすべての教科で大阪府平均を上回った。

■1年生の数学、英語は大阪府平均を4ポイント以上、上回った。

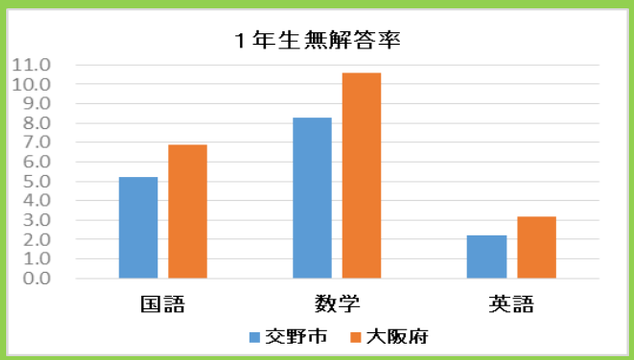
■2年生の理科Aは6ポイント、社会、英語は3ポイント以上上回ったが、数学は、大阪府平均と0.1ポイント差となった。

2年生	交野市	大阪府	交野市－大阪府
国語	52.8	51.1	1.7
社会	53.5	49.8	3.7
数学	59.7	59.6	0.1
理科A	54.8	48.8	6.0
理科B	52.2	49.9	2.3
英語	58.1	54.9	3.2



学年・教科別無解答率比較・対大阪府平均比較

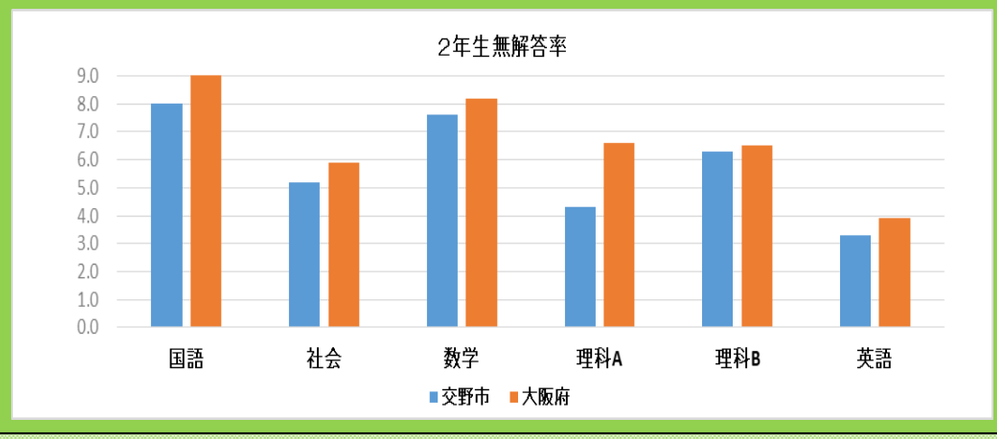
1年生	交野市	大阪府	交野市－大阪府
国語	5.2	6.9	−1.7
数学	8.3	10.6	−2.3
英語	2.2	3.2	−1.0



2年生	交野市	大阪府	交野市－大阪府
国語	8.0	9.0	−1.0
社会	5.2	5.9	−0.7
数学	7.6	8.2	−0.6
理科A	4.3	6.6	−2.3
理科B	6.3	6.5	−0.2
英語	3.3	3.9	−0.6

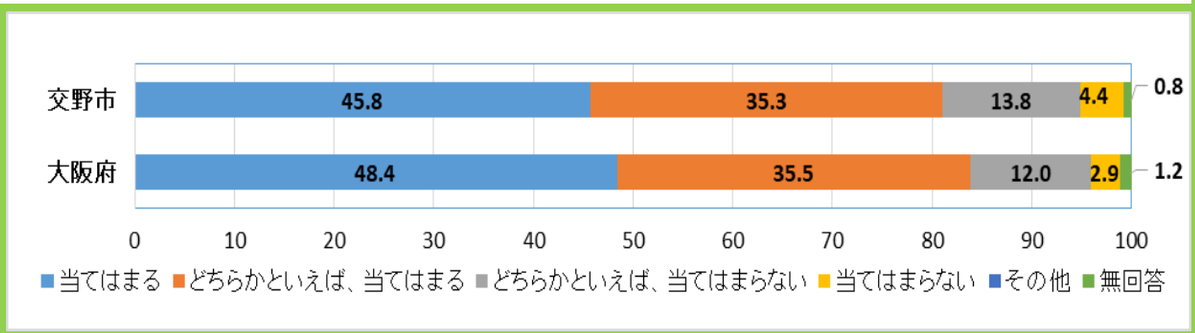
■無解答率においては、全ての教科で大阪府の無解答率を下回る結果となった。

■2年生の理科A以外の教科において、大阪府の無解答率との差が1ポイント以下となった。

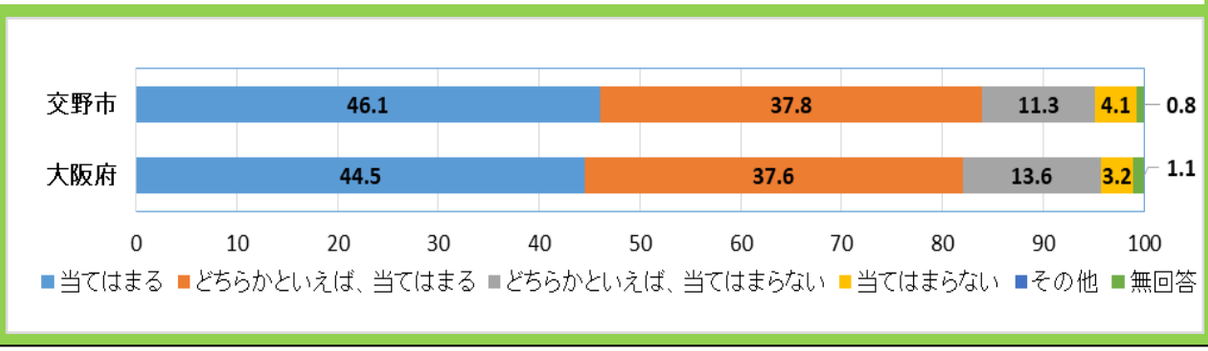


令和元年度　中学校1年　アンケート結果①　令和元年度大阪府チャレンジテスト

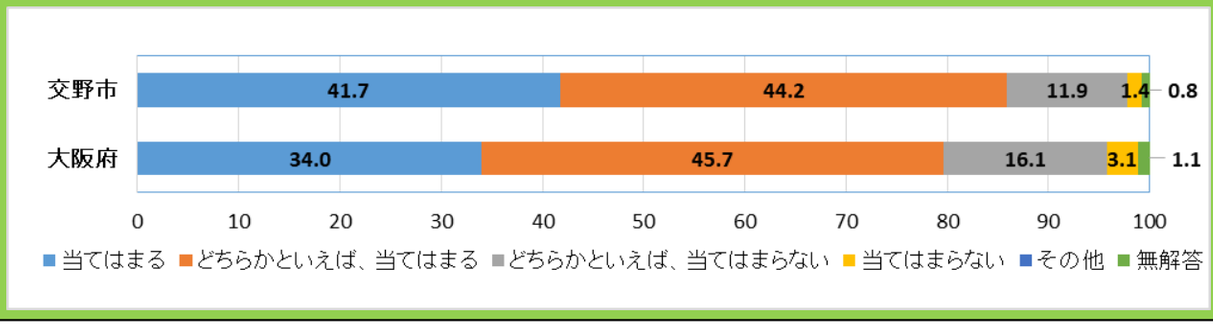
授業中，ノートやプリントに自分の考えを書く場面がある。



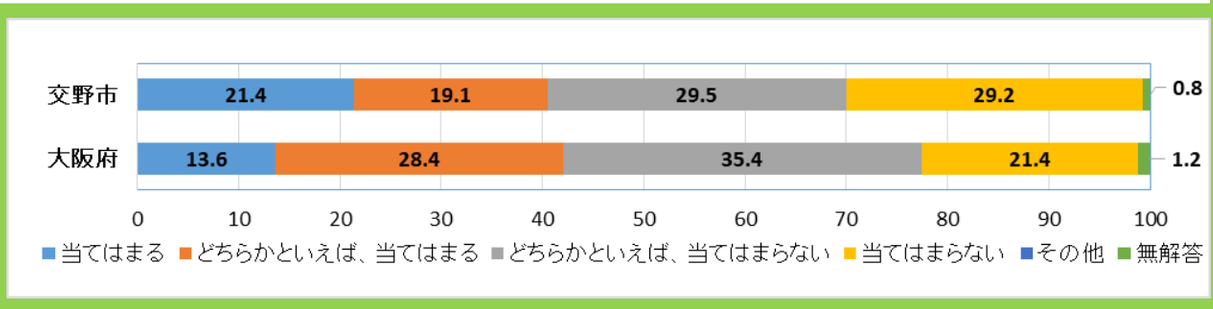
授業中、自分の考えや意見を伝える場面がある。



授業中、話し合う活動を通じて自分の考えを深めたり、広げたりしている。

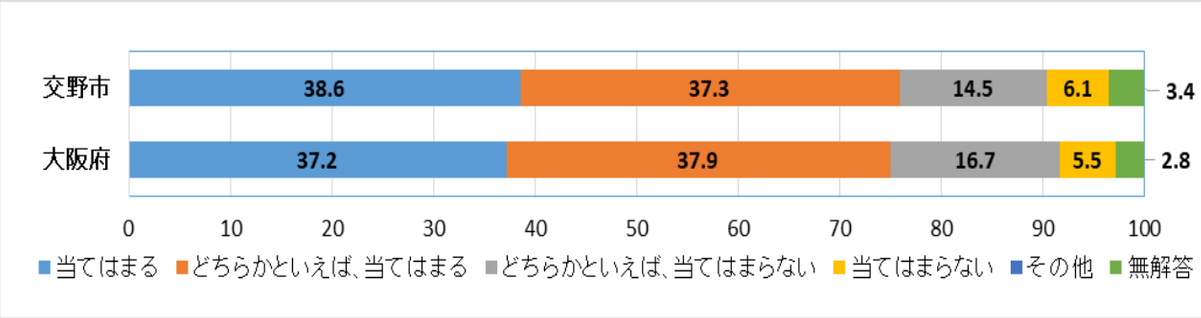


授業で、図書館の資料やインターネットなどで調べる活動がある。

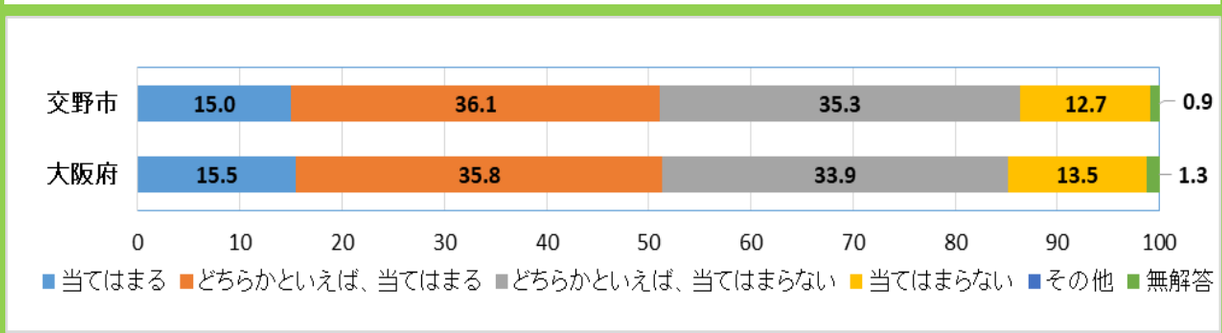


令和元年度　中学校1年　アンケート結果②　令和元年度大阪府チャレンジテスト

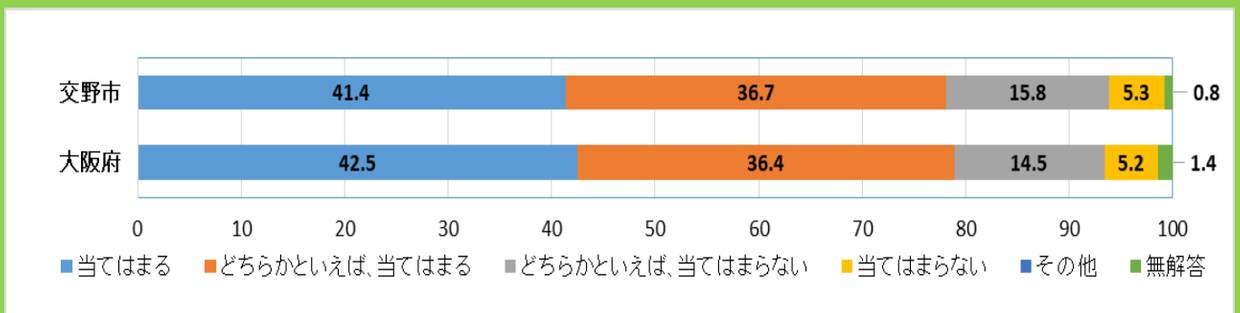
授業中，間違っても笑われない。



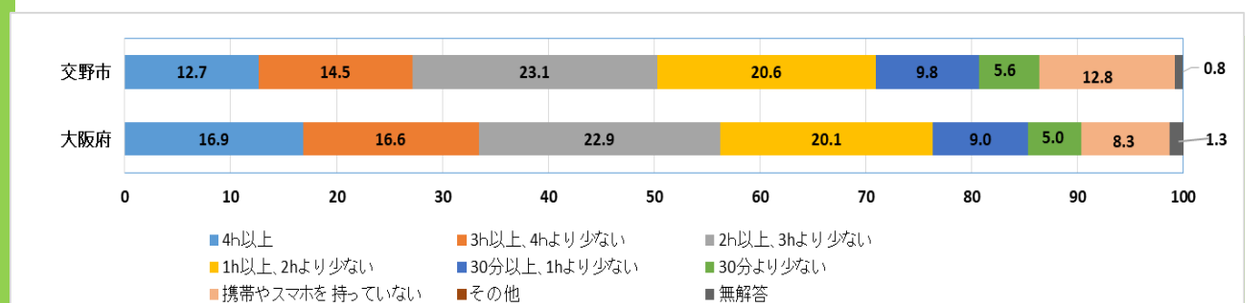
自ら課題を見つけて，家で勉強している。



テレビや新聞，インターネットなどのニュースを見る。

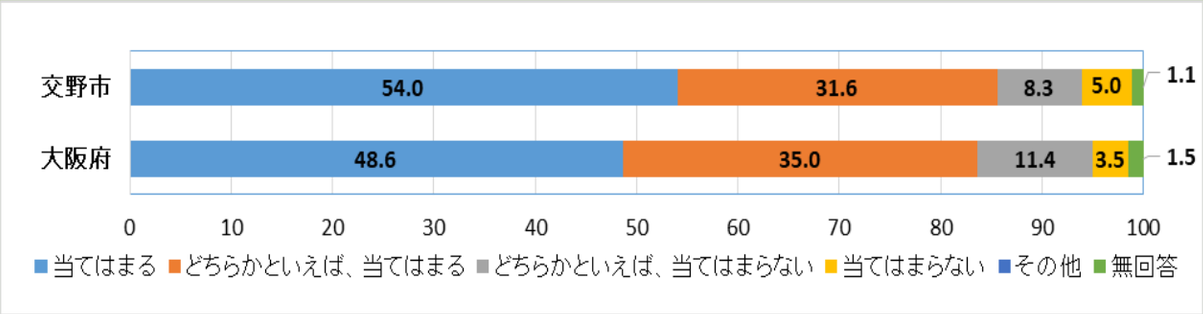


普段（月曜日から金曜日），一日当たりどれくらいの時間，携帯電話やスマートフォンを使いますか。

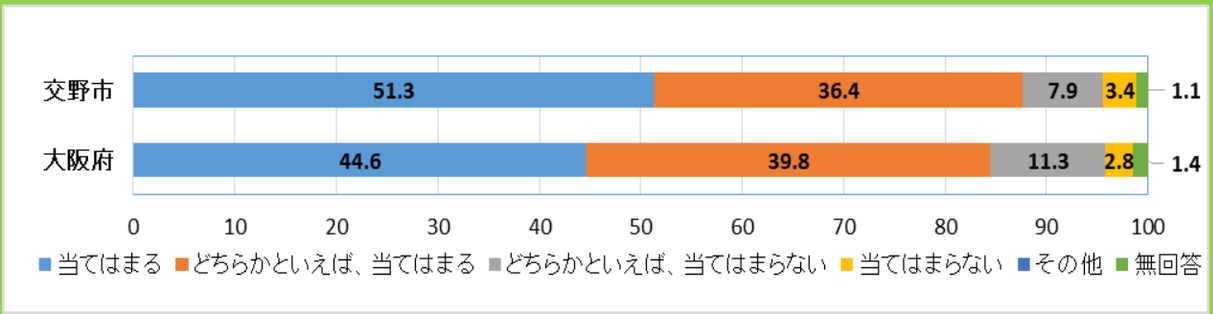


令和元年度　中学校2年　アンケート結果①　令和元年度大阪府チャレンジテスト

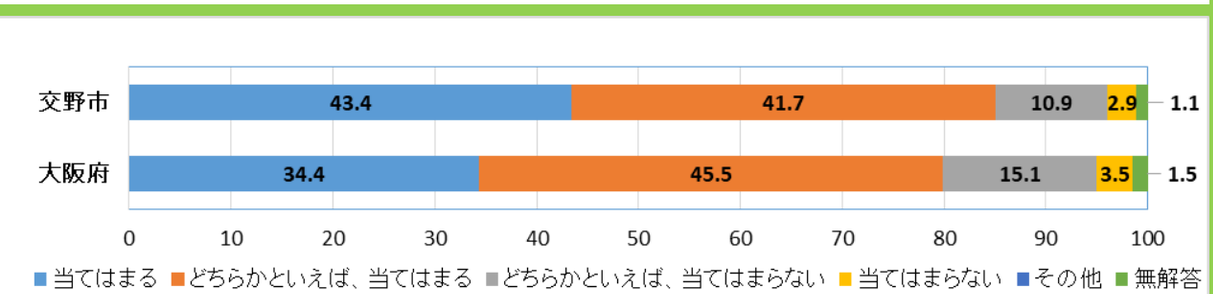
授業中，ノートやプリントに自分の考えを書く場面がある。



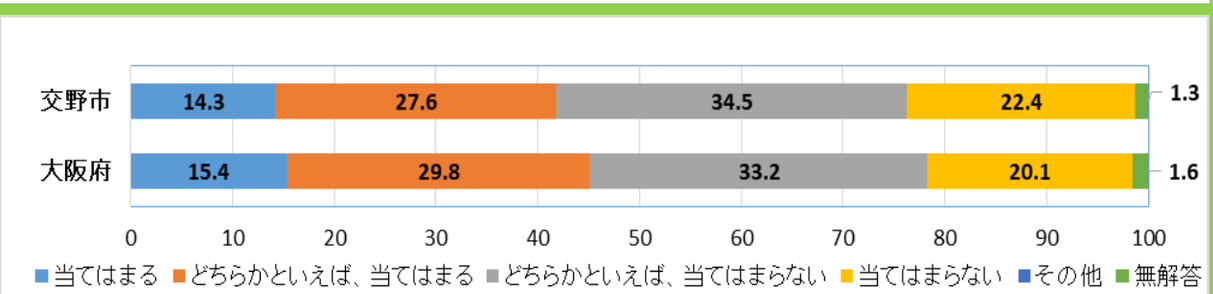
授業中、自分の考えや意見を伝える場面がある。



授業中、話し合う活動を通じて自分の考えを深めたり、広げたりしている。

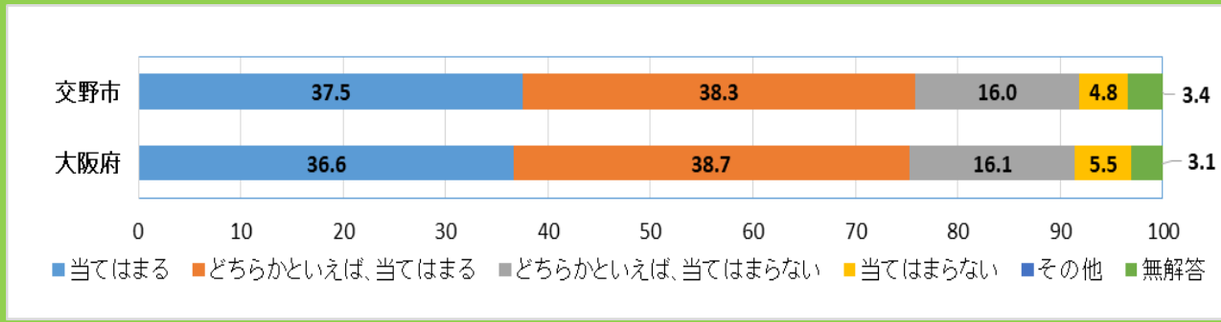


授業で、図書館の資料やインターネットなどで調べる活動がある。

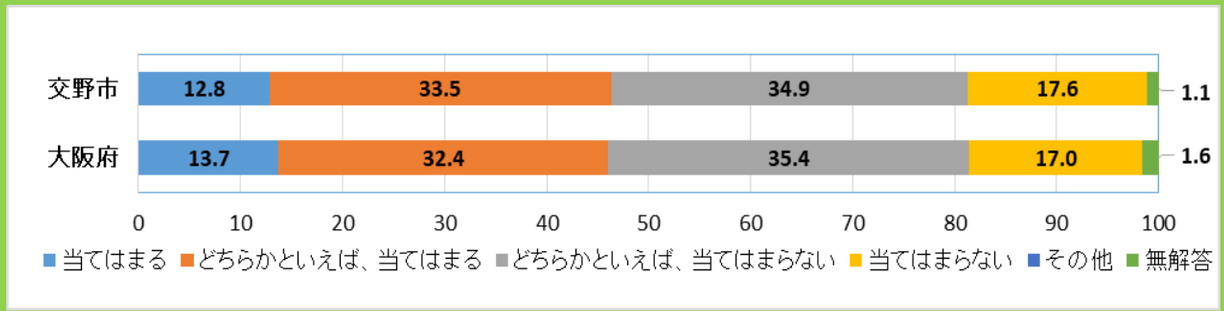


令和元年度　中学校2年　アンケート結果②　令和元年度大阪府チャレンジテスト

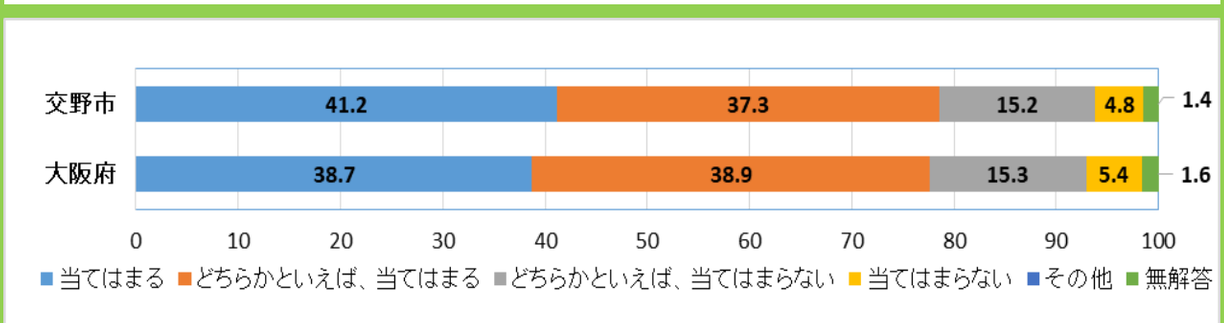
授業中，間違っても笑われない。



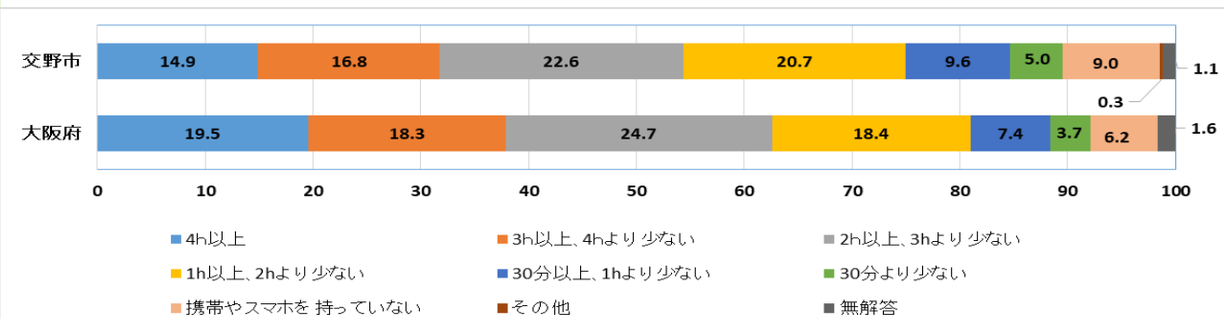
自ら課題を見つけて，家で勉強している。



テレビや新聞，インターネットなどのニュースを見る。

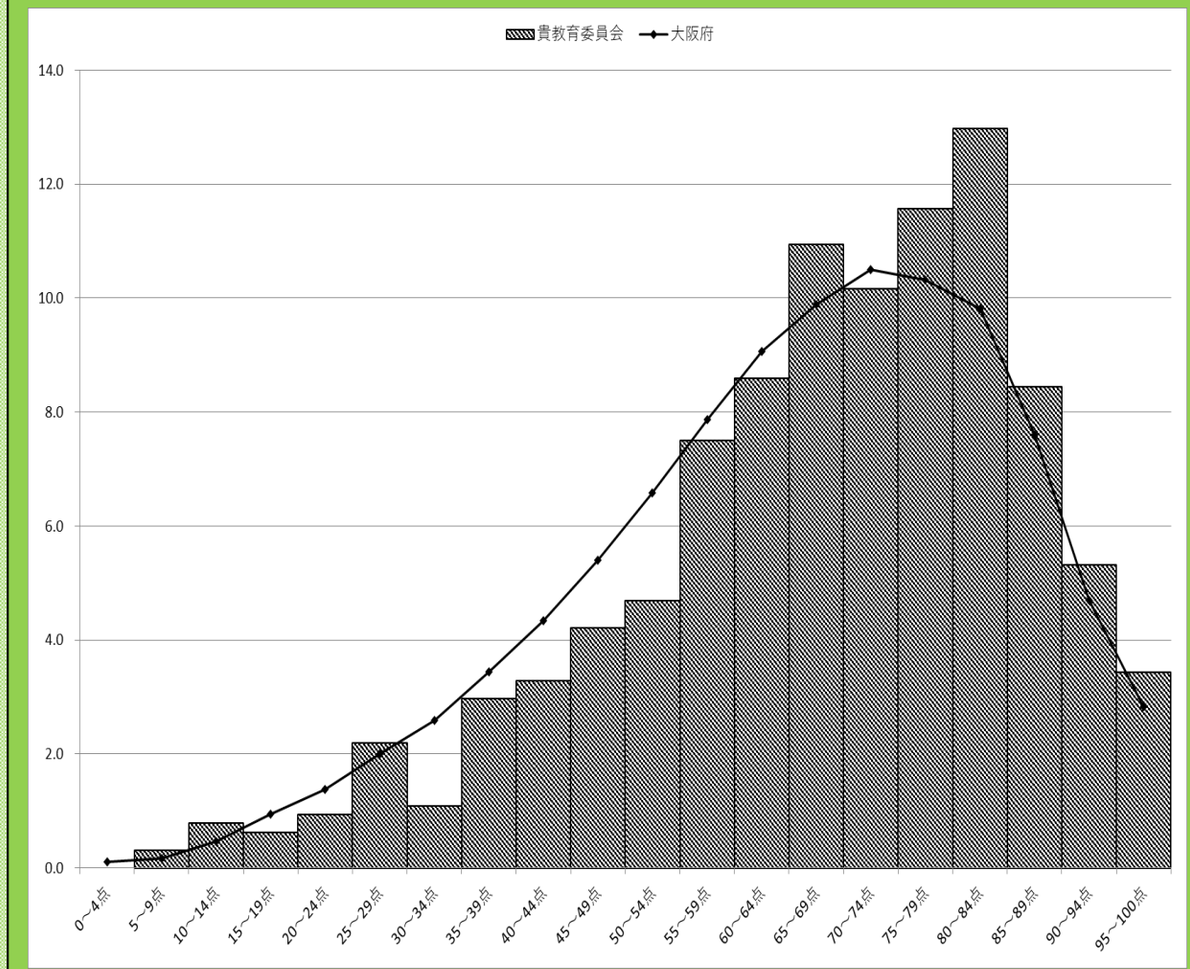


普段（月曜日から金曜日），一日当たりどれくらいの時間，携帯電話やスマートフォンを使いますか。



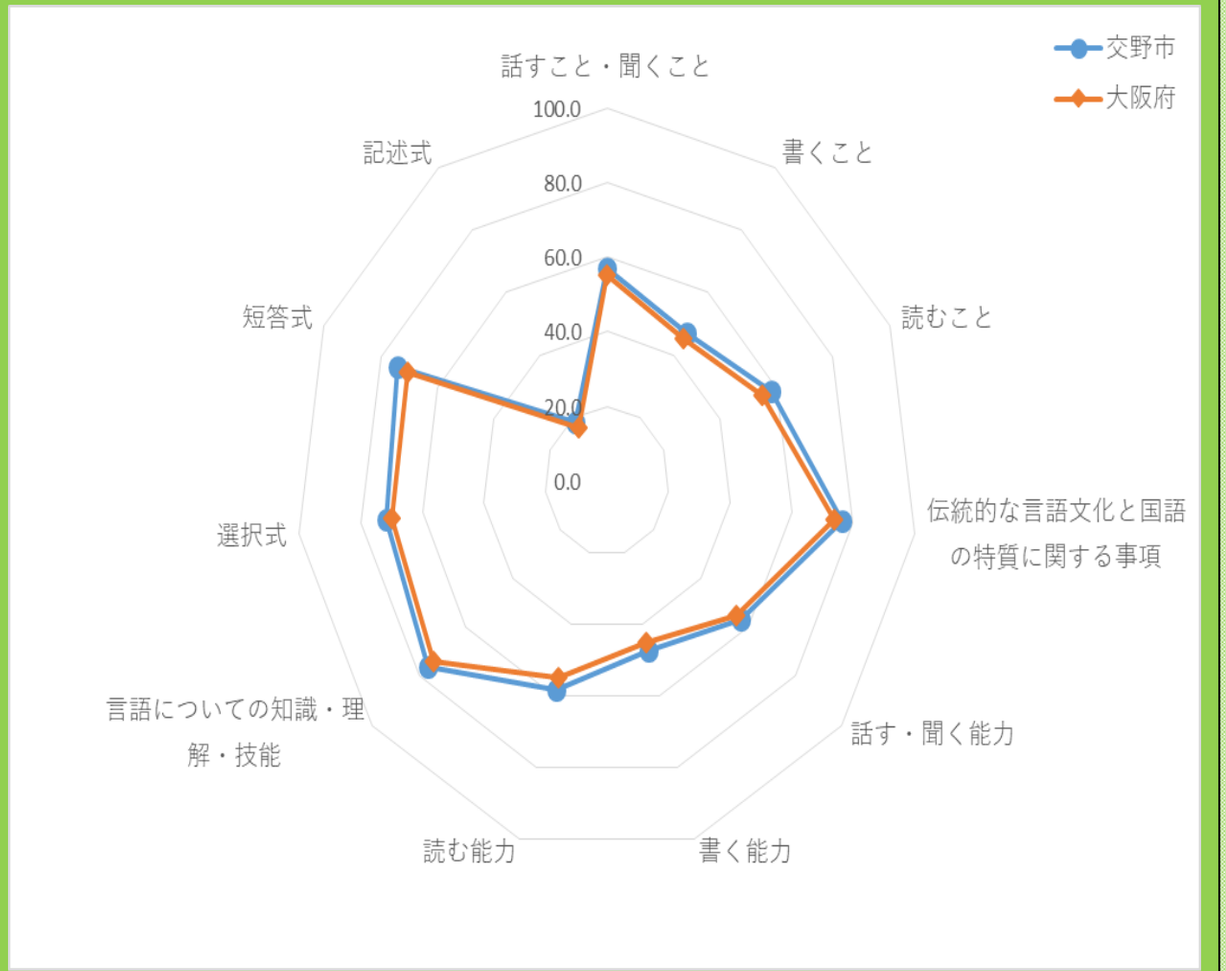
国語

得点分布



■大阪府の分布より右寄りの山型となっている。

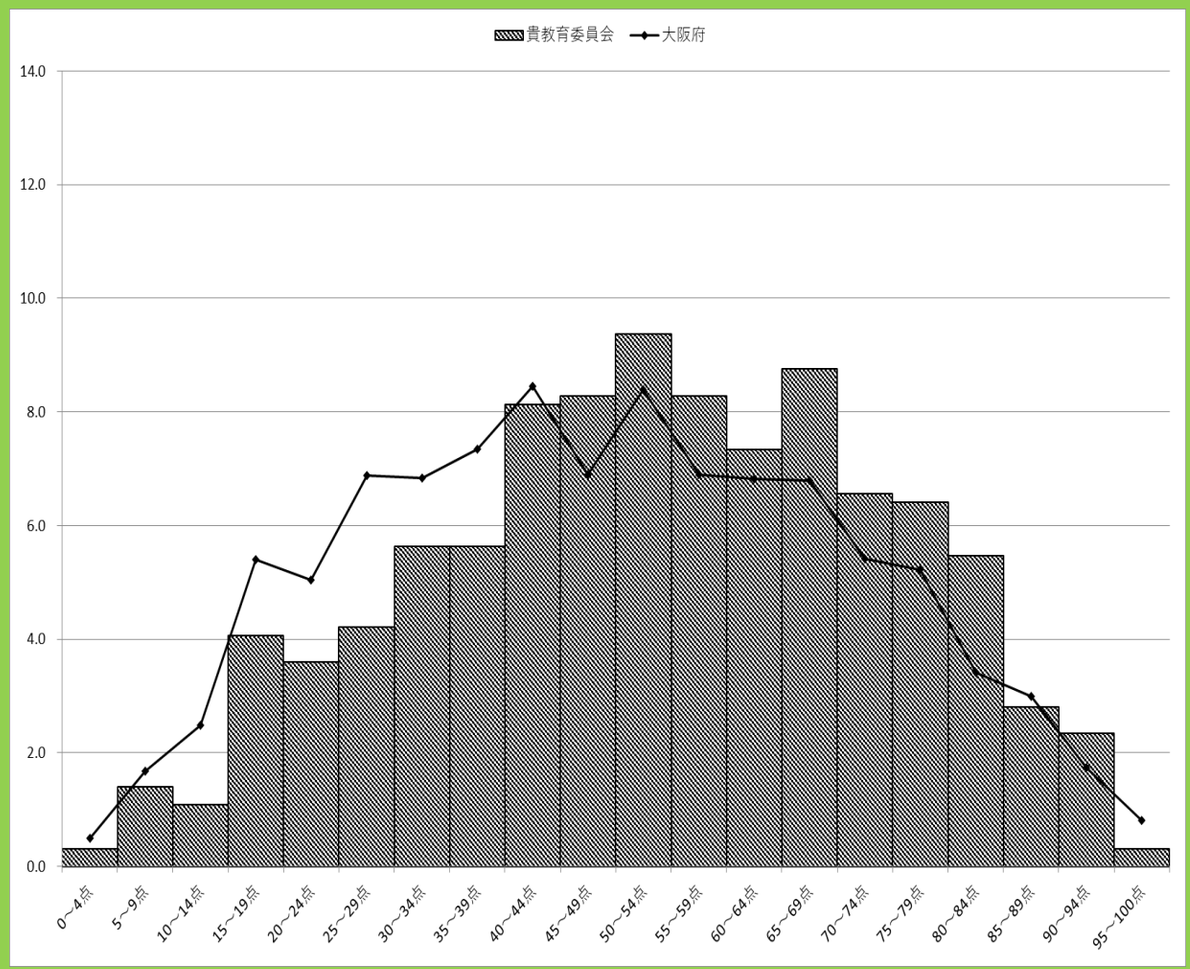
領域・観点・問題形式別　得点率



■大阪府と概ね同傾向にある.
■記述式の得点率が府と同様に課題である。
■字数と条件を満たして、自分の考えを明確に書く問題で、無解答率が高かった。

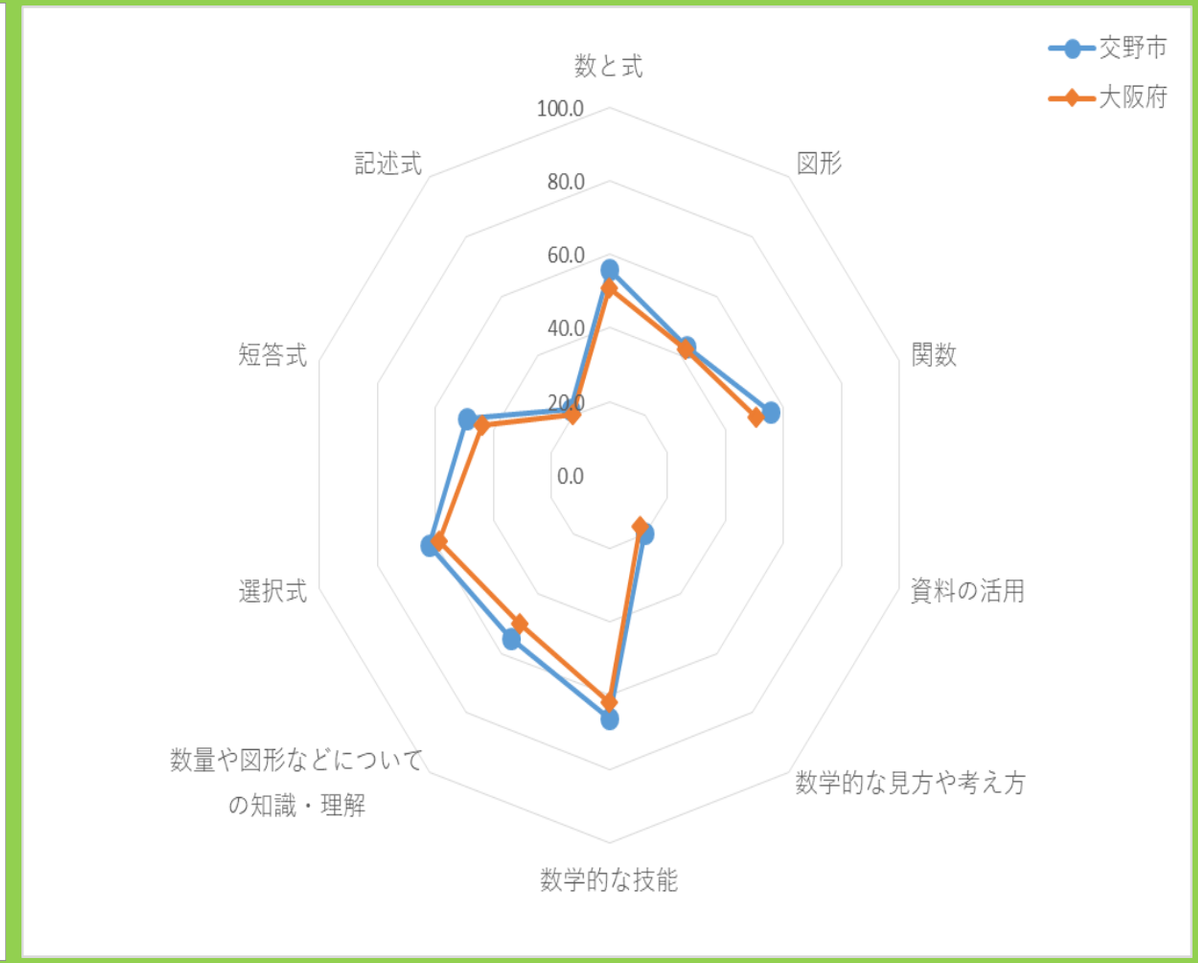
数学

得点分布



■大阪府の分布より右よりの山型になっている

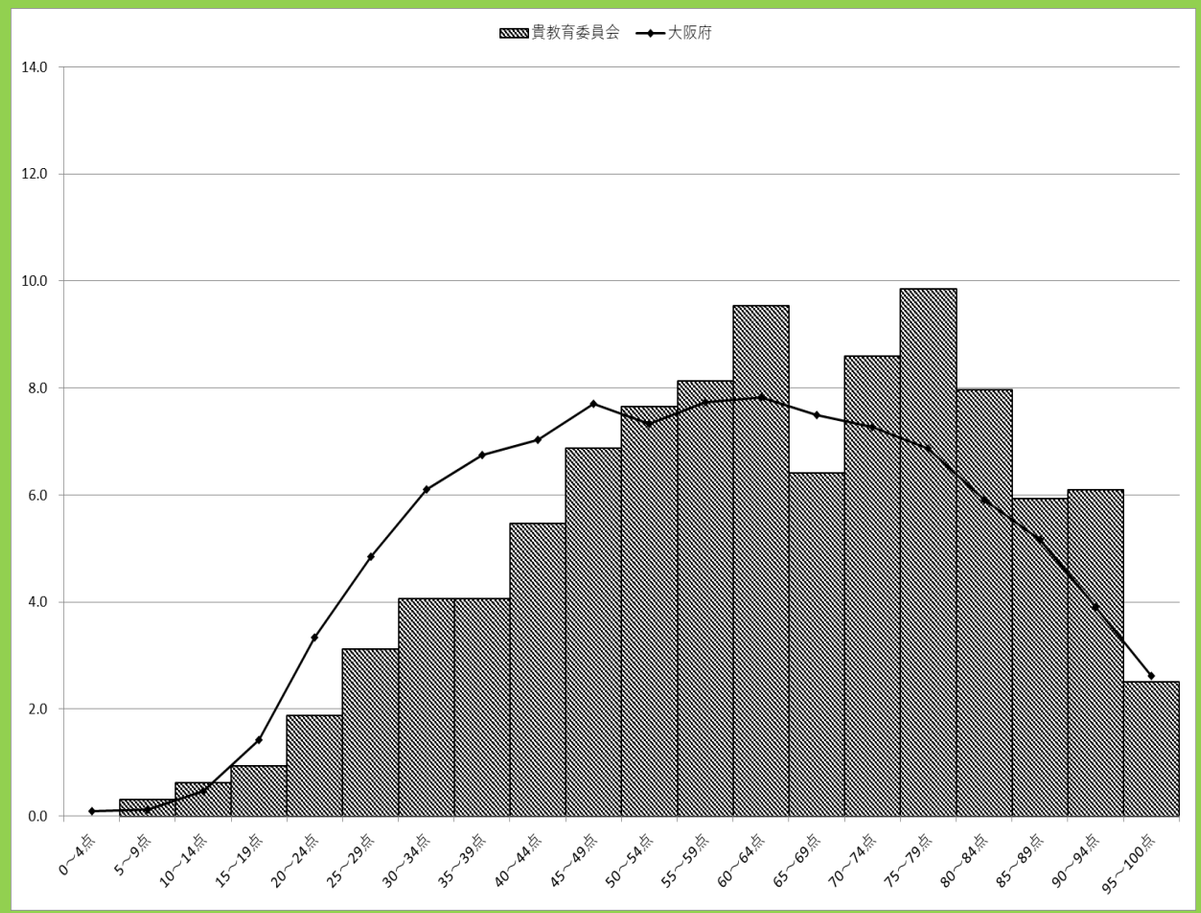
領域・観点・問題形式別　得点率



■大阪府とほぼ同傾向である。
■短答式、知識・理解の問題で府の得点率を上回っている。記述式の問題は府と同様課題である。
■方程式の解を理解した上で、出題された問題が間違っている理由を答える問題で高い無解答率であった。

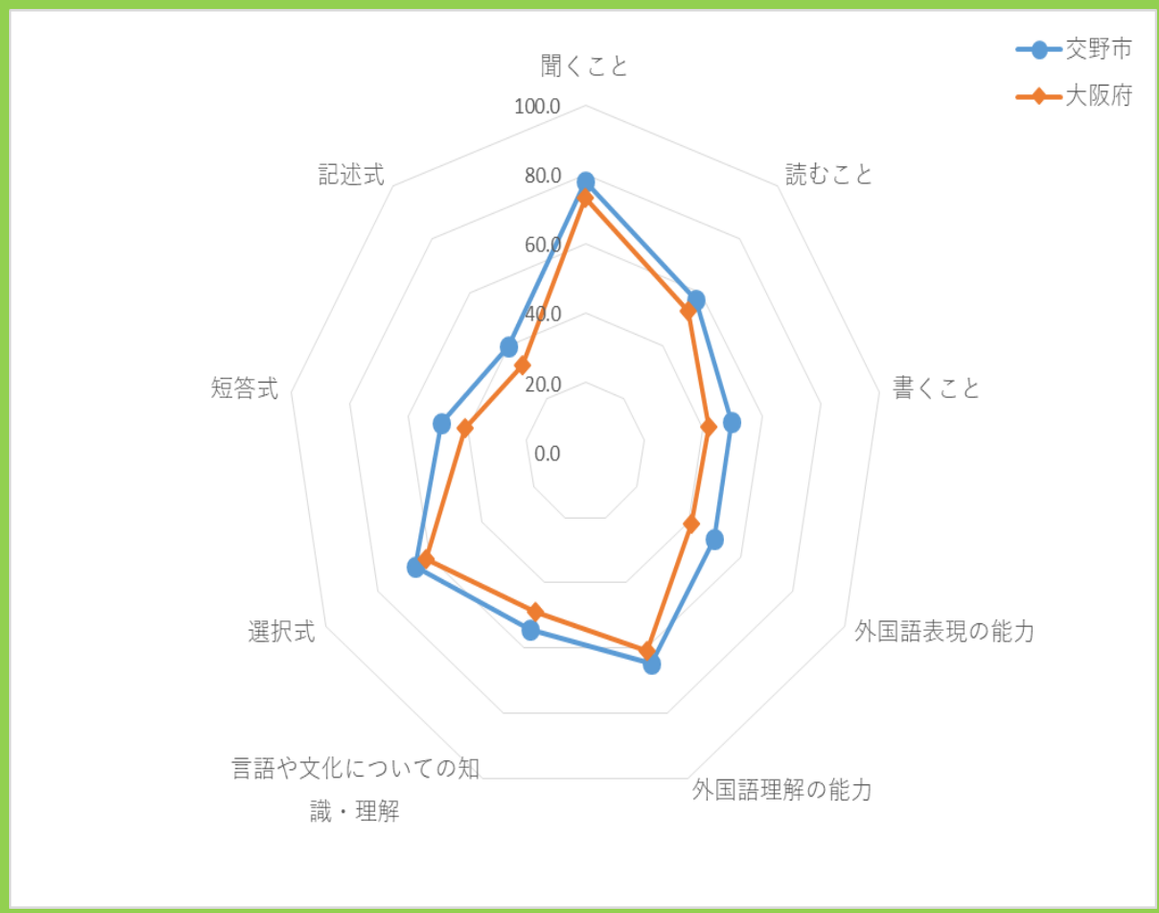
英語

得点分布



■・大阪府の分布より右寄りの山型になっている。

領域・観点・問題形式別　得点率

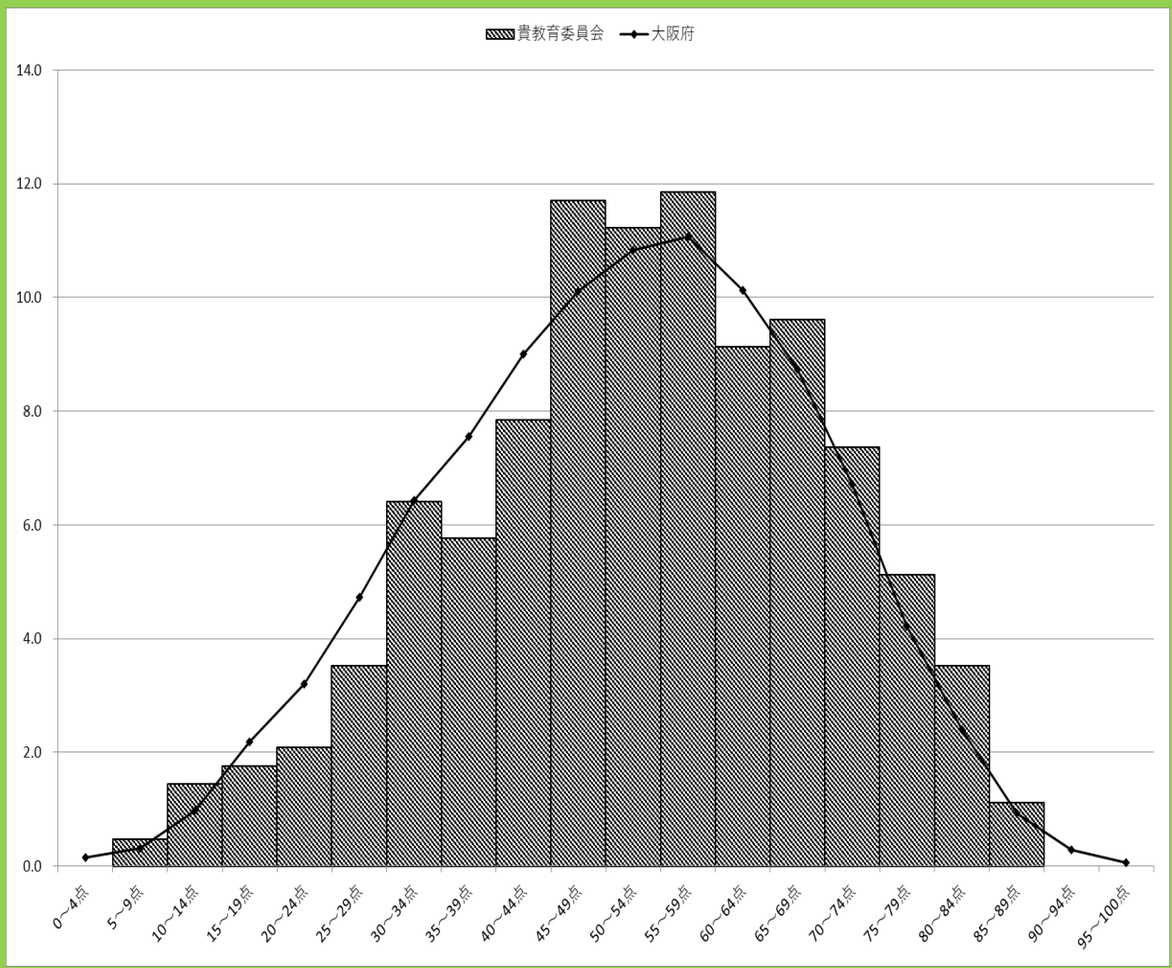


■すべてにおいて、大阪府の得点率を上回っている。

■記述式の問題に課題があり、英文の内容を理解し、日本語で説明する問題で、無解答率が高かった。

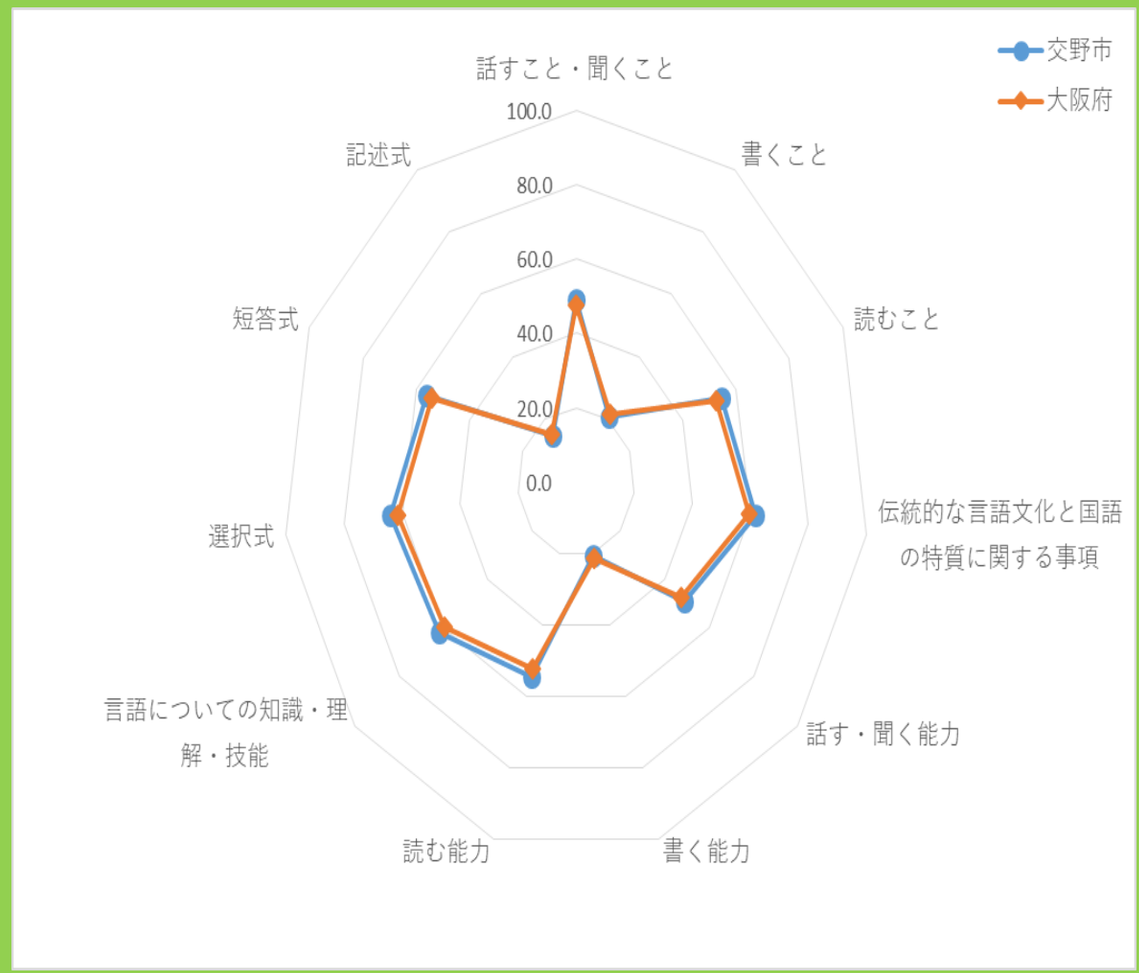
国語

得点分布



●・大阪府の分布とほぼ同じ山型となっている。

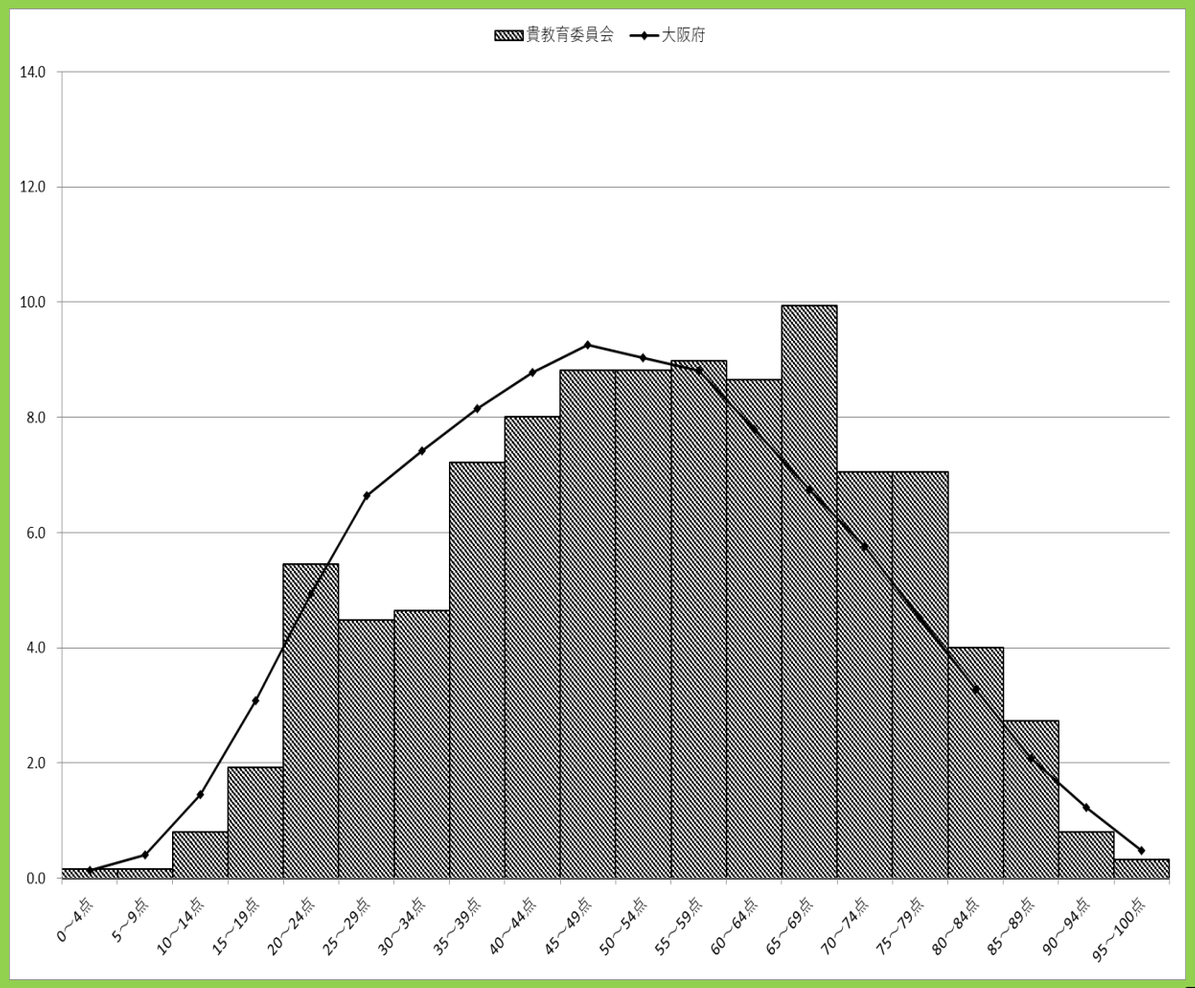
領域・観点・問題形式別　得点率



■問題形式別得点率の状況は大阪府と同傾向にある。
■書くこと、書く能力、記述式の得点率が低い。
■スピーチを聞き、相手の発言を尊重し、自分の考えをまとめる問題で、無解答率が高かった。

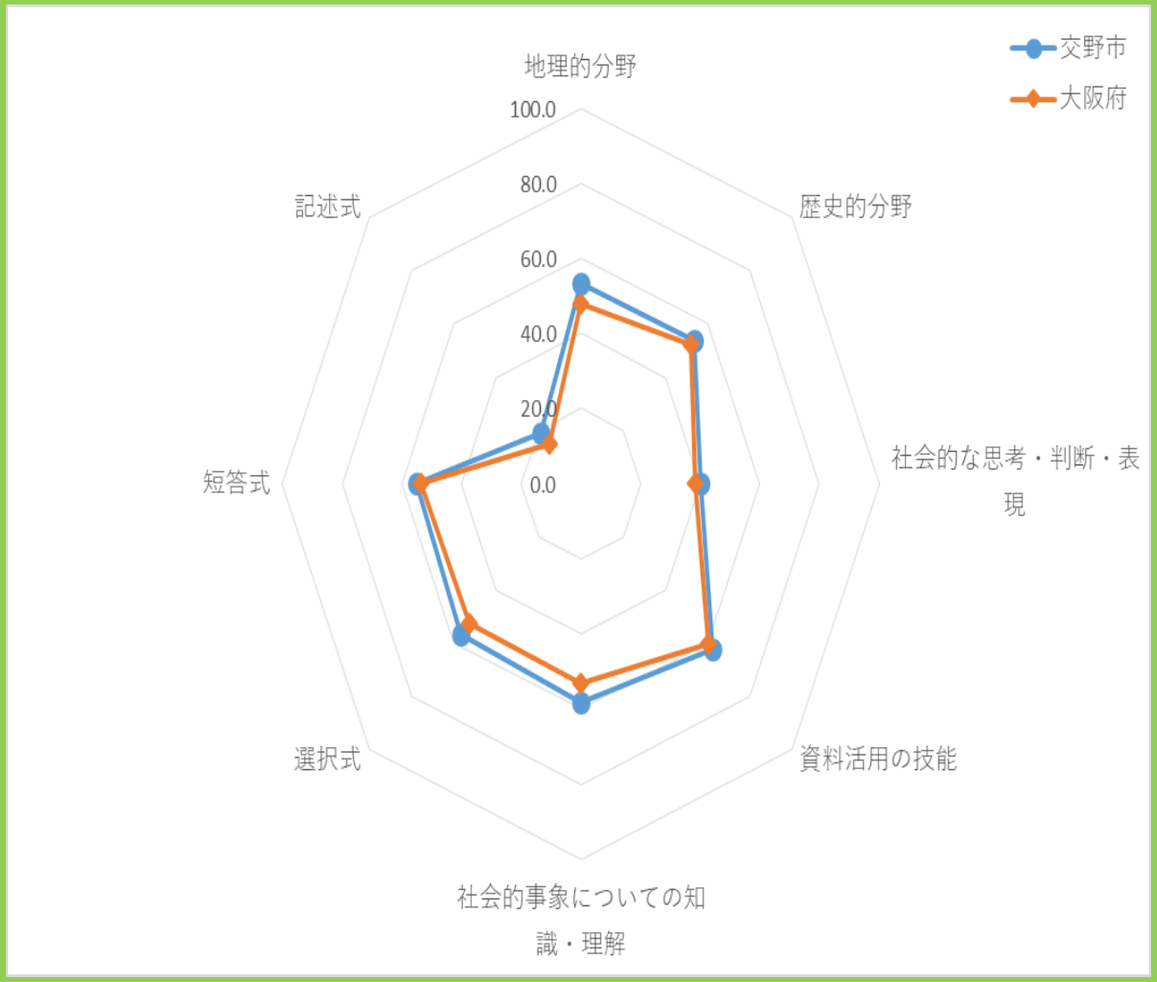
社会

得点分布



●・大阪府の分布より右寄りの山型になっている。

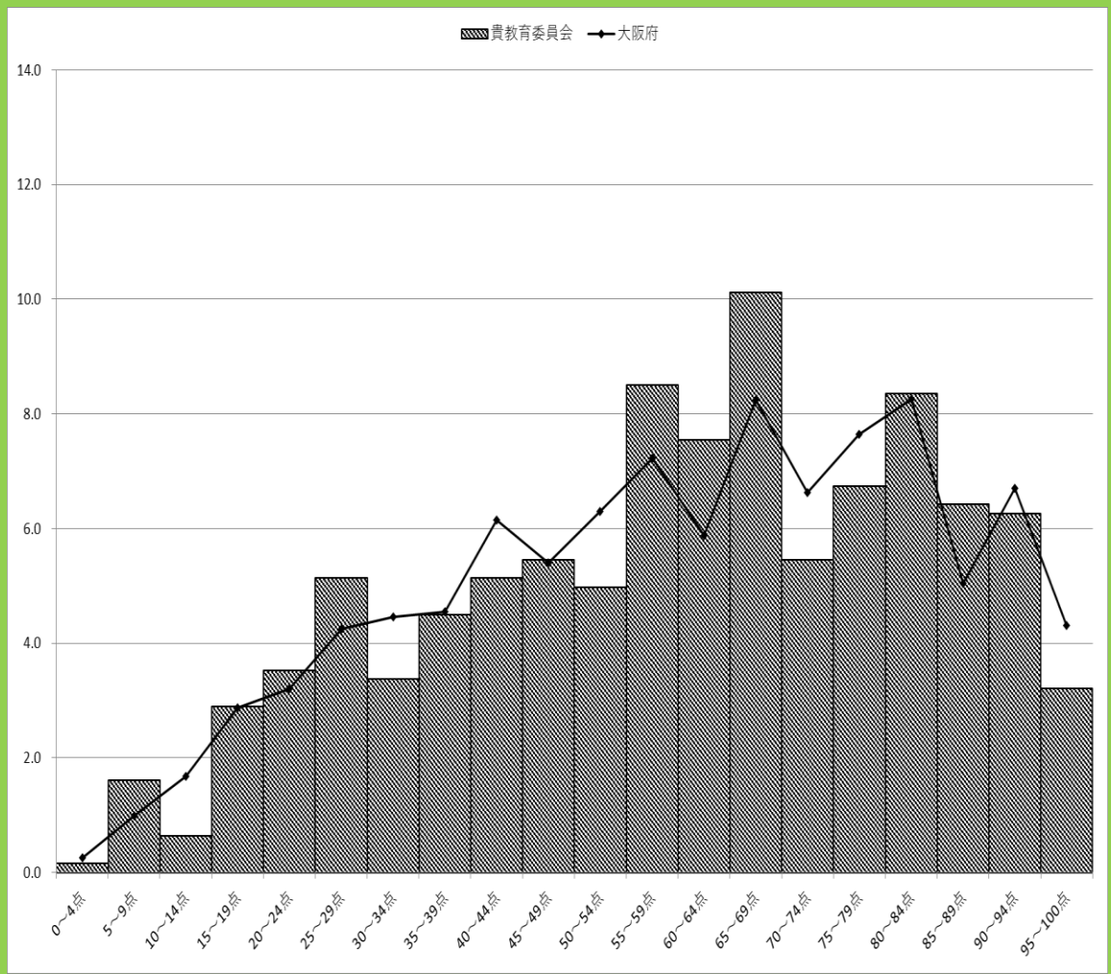
領域・観点・問題形式別　得点率



■大阪府より上回っているが、同傾向である。
■記述式と思考・判断・表現において課題が見られる。
■日本の製鉄所が臨海部に立地する利点について表を活用して説明する問題では、無解答率が高かった。

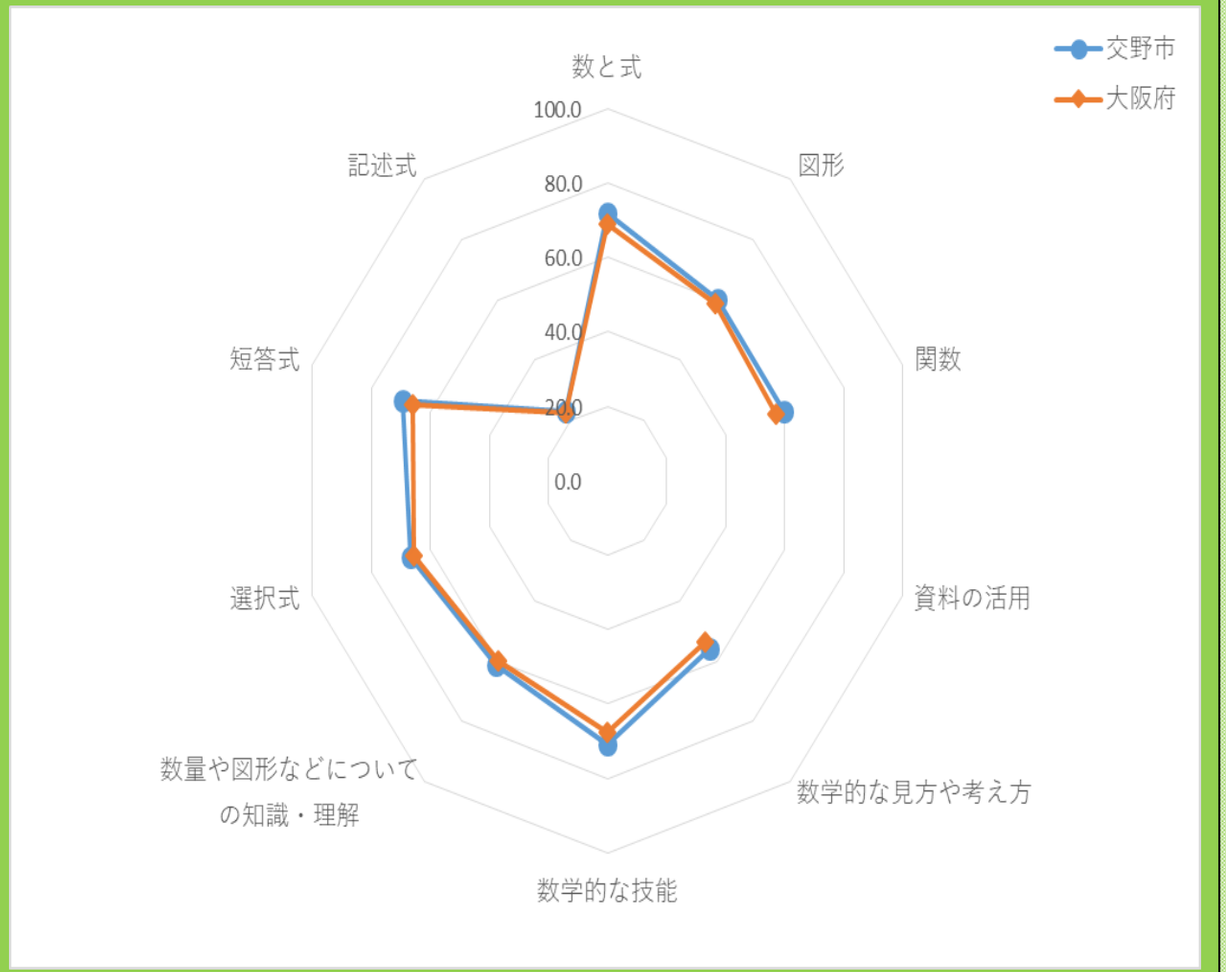
数学

得点分布



■府と同じような右寄りの山型なっている。

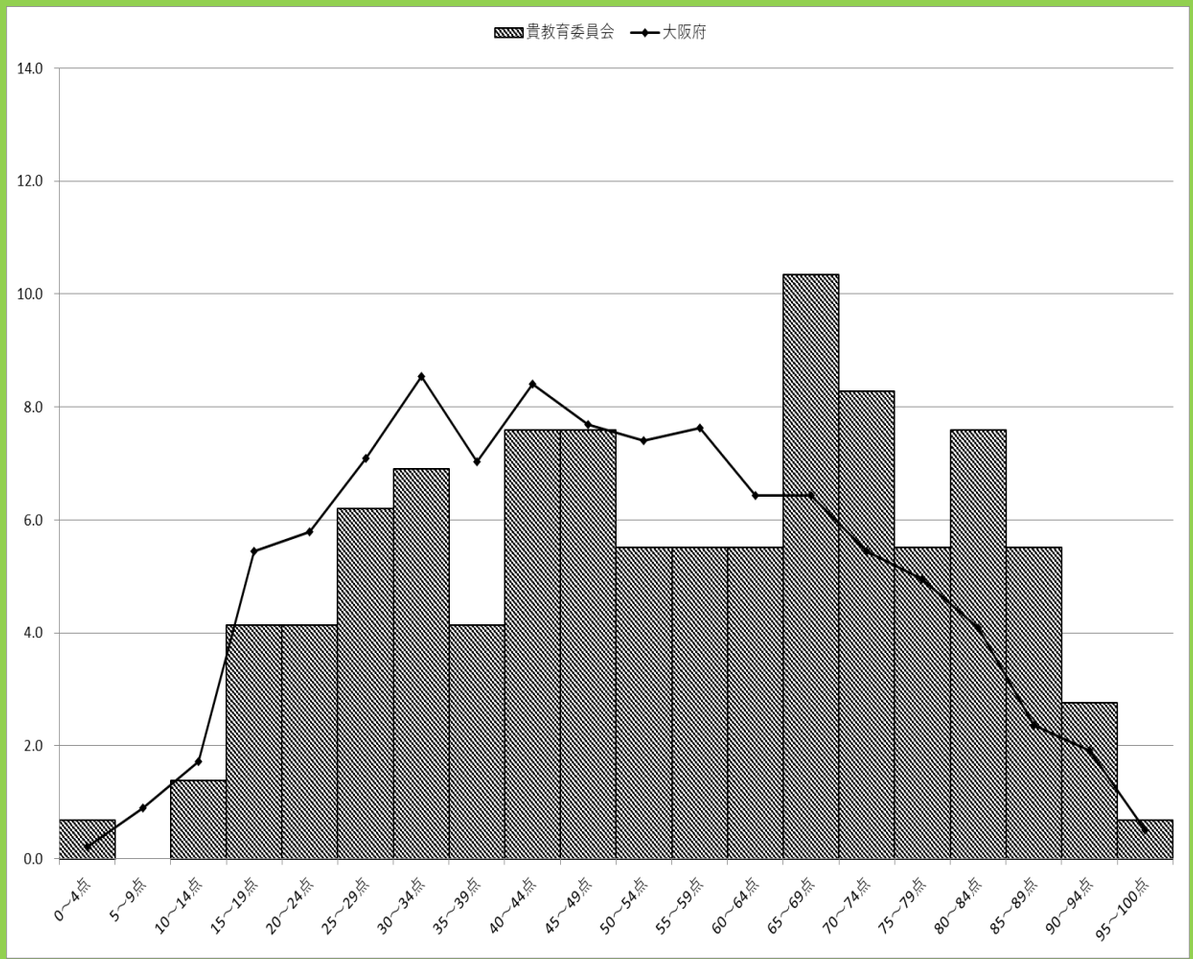
領域・観点・問題形式別　得点率



■大阪府とほぼ同傾向である。
■記述式の問題は府と同様課題である。
■図やグラフから、その事象を言葉で表現する問題で無解答率が高かった。また、グラフの図を書き入れる問題も無解答率が高かった。

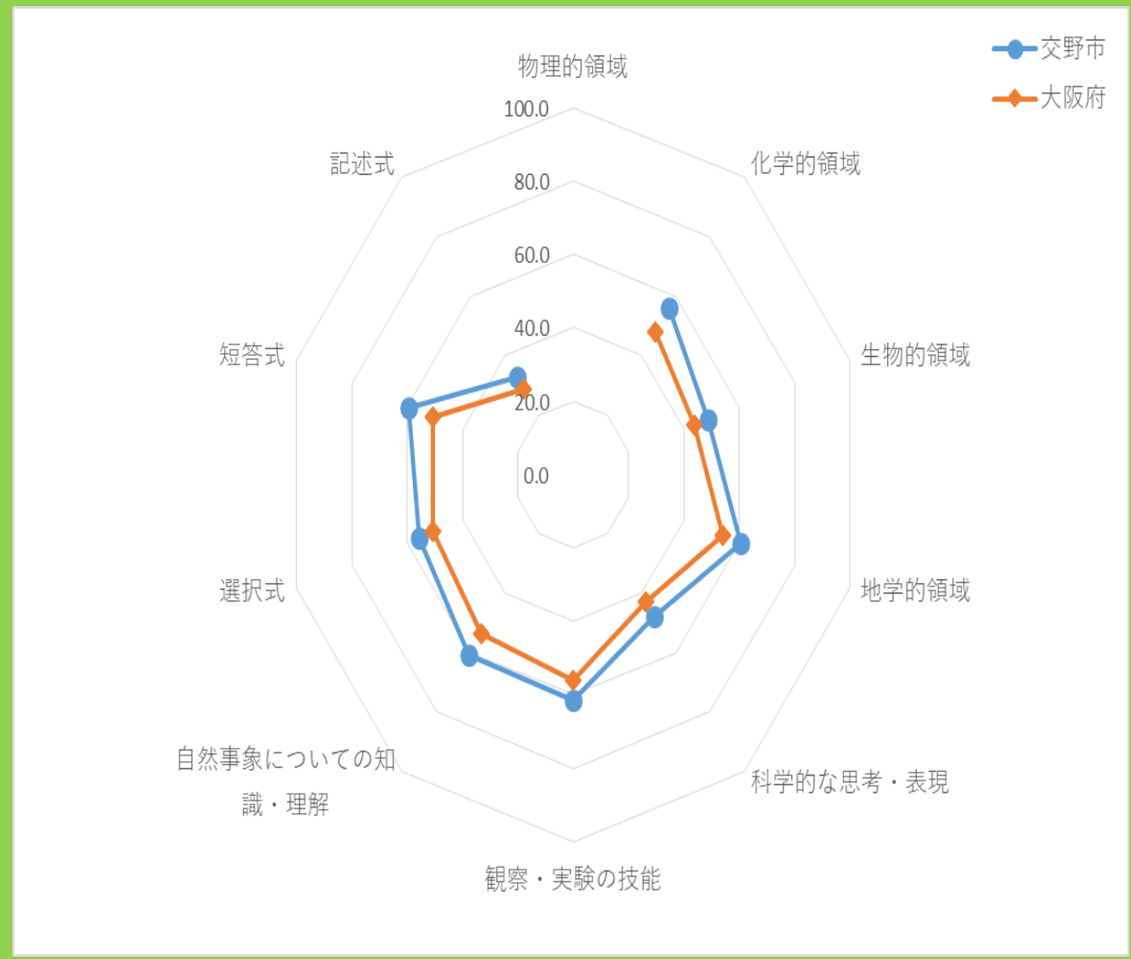
理科A

得点分布



●・大阪府の分布より右側に分布している。

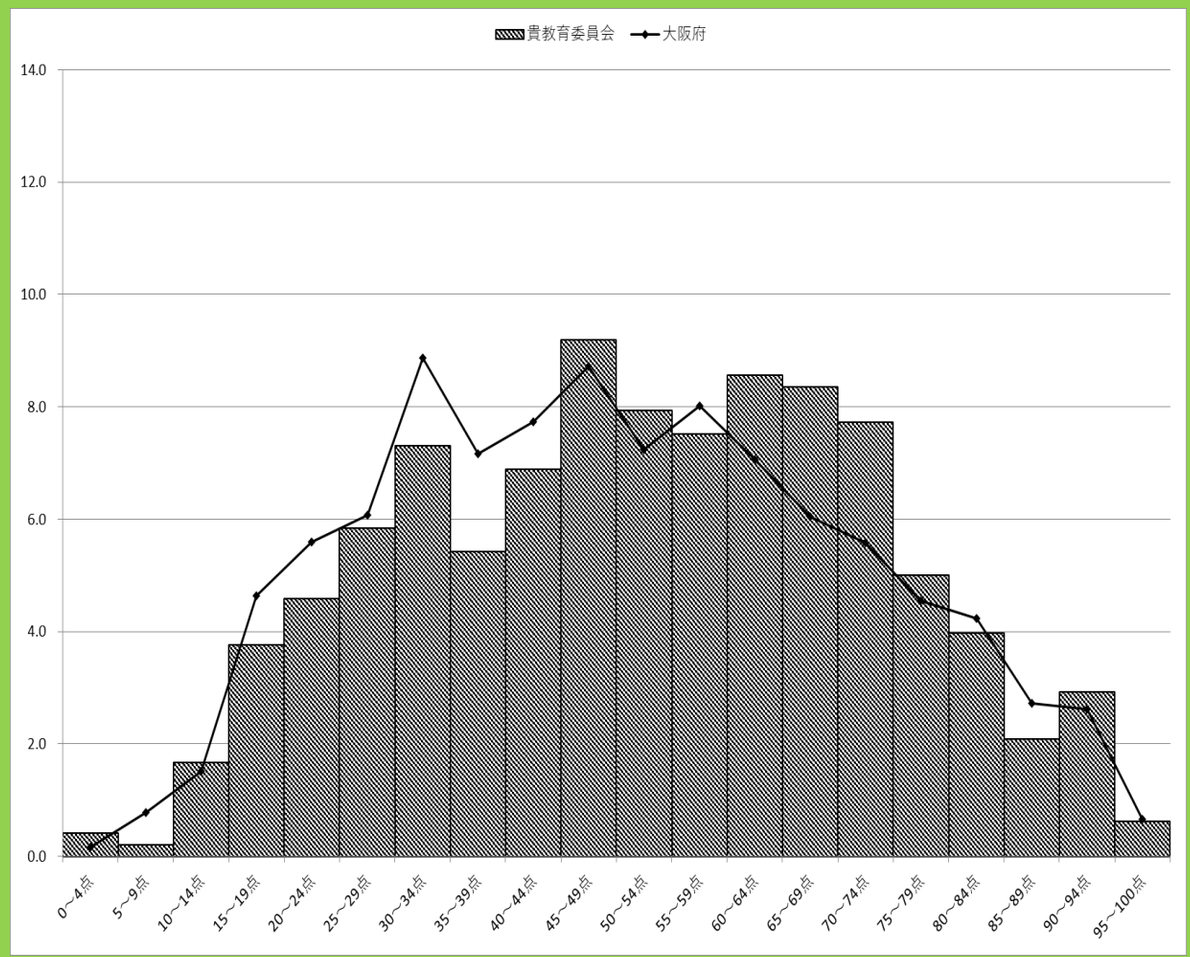
領域・観点・問題形式別　得点率



■すべての項目で、大阪府の得点率を上回っている。
■記述式の問題は課題ではあるが、科学的な仕組みを説明する問題では、府比で無解答率も低く、得点率も高くなっている。

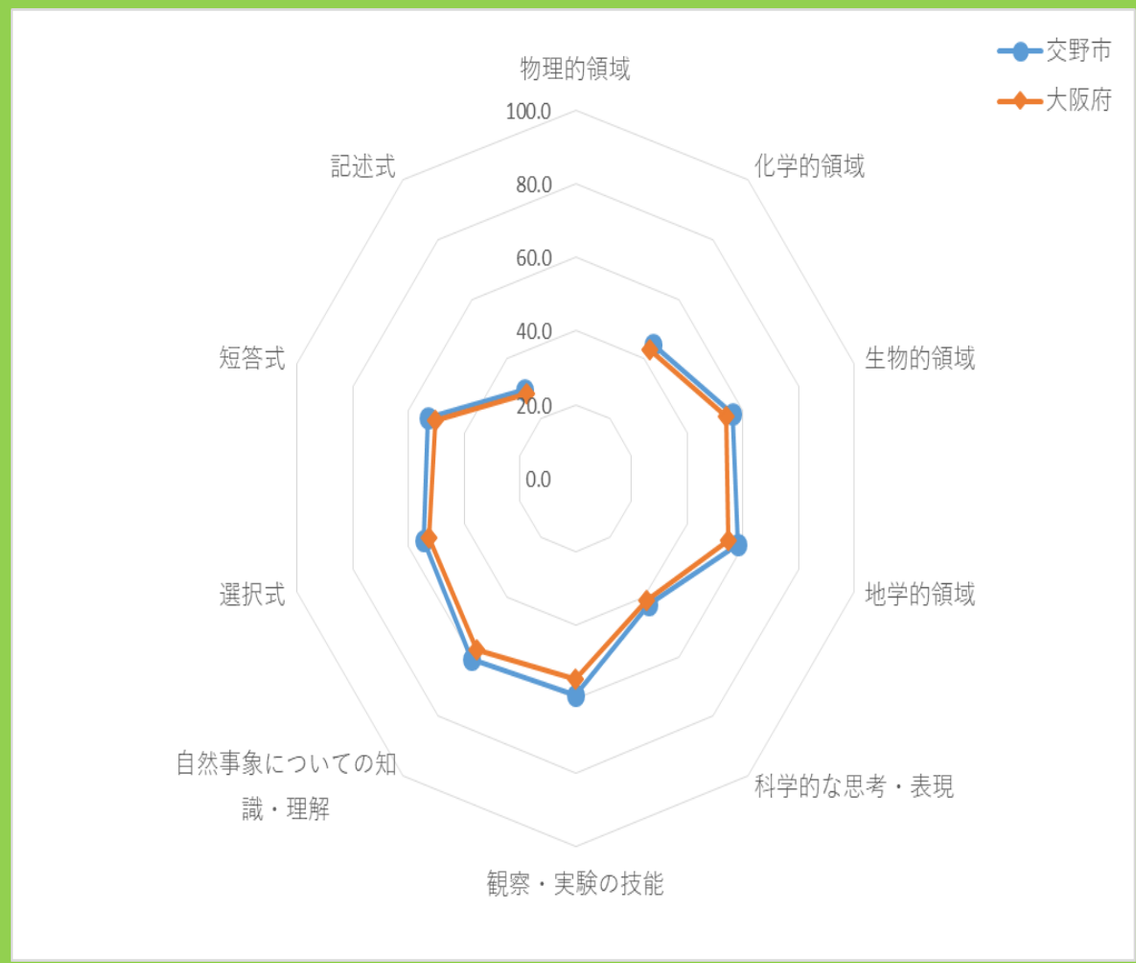
理科B

得点分布



■大阪府の分布よりやや右に分布している。

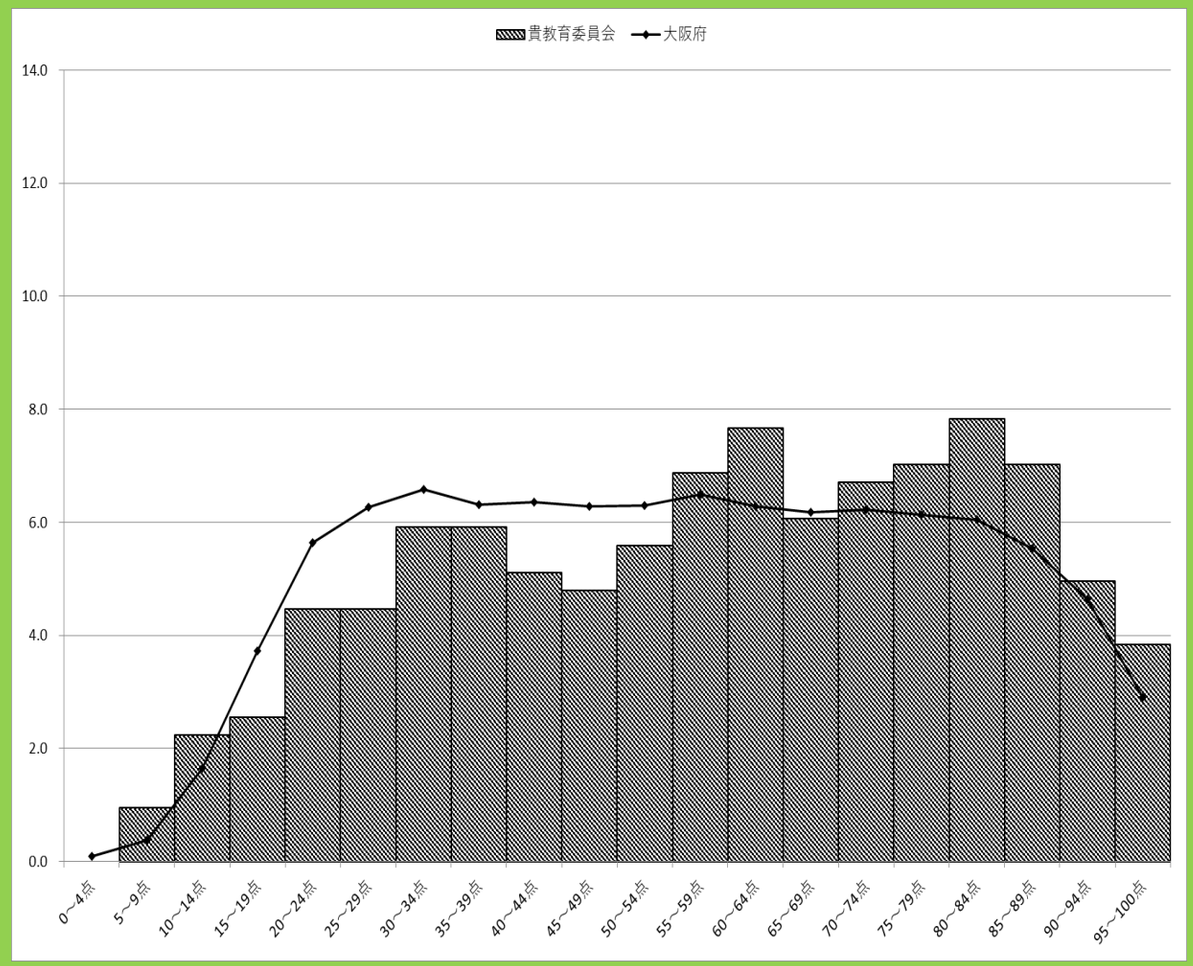
領域・観点・問題形式別　得点率



■大阪府とほぼ同傾向であるが、すべての項目で上回っている。
■記述式に課題があるが、知識・技能においては、得点率が高い。
■観察実験の技能の分野で、正答率、無解答率ともに、府比で良い結果となっている。

英語

得点分布



■府の分布よりも右側に多くの層がある。左側の層は府よりも多くなっている所もある。

領域・観点・問題形式別　得点率

■府とほぼ同じ傾向である。
■記述式や書くことにおいて府と同様に課題がある。
■会話文の内容について、日本語で説明する問題で無解答率が高く、正答率も府同様、課題がある。

交野市　令和2年1月9日実施

【令和元年度　大阪府中学生チャレンジテスト（1,2年生）まとめ】

【課題】

●全教科に共通して記述式の問題に課題があります。知識・理解を問う短答式の問題であっても、思考力が必要な出題形式では、正答率、無解答率で課題が見られます。解答への道筋を組み立て、自分の言葉で考え、表現する力が求められます。

●知識理解については得点率は高いですが、その知識を系統的に理解し、活用することが求められます。

【課題解決に向けた取組み】　　小中一貫教育全面実施に向けた交野市学力向上プランの推進

令和2年4月より、小中一貫教育を全小・中学校で展開し、児童・生徒が学んだことを活用し、自ら考え、学び合うための学力向上に向けた具体的な取組みを進めていきます。

（授業力の向上）

授業力向上に向けて、学校内全体で授業改善に取組む研究体制づくりを推進します。統一した流れによる授業づくりの指針として「かたのスタンダード」を「かたのスタディ」に改め、じっくり考え、学び合う授業を実施することで、考える力を育てます。

（言語活用力向上）

「主体的・対話的で深い学び」の実現のため、国語科を中心に、すべての教科において、語彙力・文章を読む力・書く力を育成します。また、学校図書館を活用したモデル校の取組みを市内全体に発信し、読書活動・資料活用を伴った授業を推進します。

（自学自習力の向上）

「家庭学習の手引き」等を活用して、生徒・保護者に家庭学習の重要性や効果的な方法を周知します。学校の授業と家庭学習を一体として捉え、生徒の主体的な学びを促します。

【小学校での取組み】　　小学校定期テストの実施

小学校5，6年生においても、統一した問題形式での定期テストを行い、児童の学習内容の定着と個々の学びのつまづきを見取っていきます。小学校から定期テスト形式に慣れることによって、中学校へのスムーズな学びの接続や家庭学習への意識づけにつなげ、テストにおいてこれまでの積み重ねが発揮できるように取組みます。